

なめこの作り方

原木

■樹種

最適樹:ブナ・トチ・サクラ・クルミ・イタヤなど。

適樹:ホウ・シデ・カシ・エノキ・カエデ・ヤナギ・クワなど。

その他、ほとんどの広葉樹に発生するが収量や品質に差がある。

■伐採

時期:半紅葉期から、新芽が出るころまでに伐採する。

太さ:5cm位から、60cm位のもの。

■玉切り(栽培に適した長さに切りそろえること。標準は90cm)

・水分の多い木(ヤナギ・ポプラなど)は、10日くらい葉干し(枝干し)してから玉切りする。

・長さは、25cm~1m位に玉切る。

・玉切りしたら、あまり乾かさないうちに植菌する。



植菌

■時期

・原木は乾きすぎないうちに植菌する。

・10月から5月頃まで。(桜の花が咲く頃までを目安とする)

秋の植菌:秋に伐採した原木に植菌し、仮伏せをして冬を越す。

春の植菌:冬から春に伐採した原木を、5月まで植菌する。

■方法

・樹皮面に、専用の孔明器か回転数の早い電気ドリルにキノコ用のキリ(8.5ミリ)をつけて、千鳥状か、ラセン状に植え穴をあける。

・木口の近くや死節・傷口の付近におおめに植える。

太い原木には、木口面にも植菌する。

駒菌 ... 直径8.5mm、深さ20mm位の穴をあけ、

樹皮面と平に駒菌を打ちこむ。

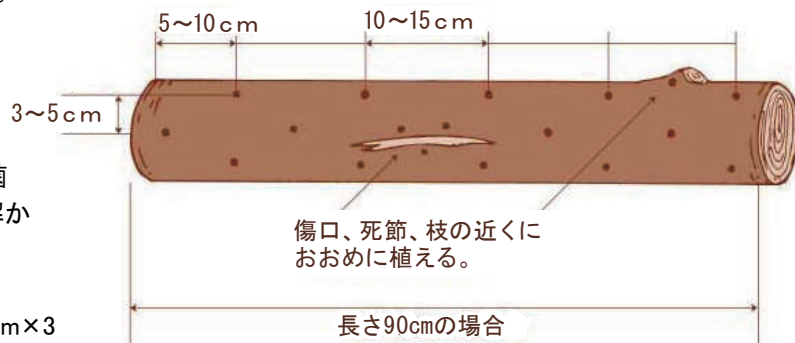
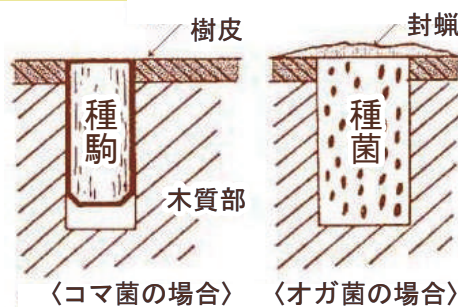
オガ菌 ... 直径12mm、深さ20mm位の穴をあけ、オガ菌を樹皮面と平に移植器で詰め、そのうえに解かした封蠟(ふうろう)を塗る。

植菌数 ... 原木の木口直径(cm)の3~4倍の数。

例)植菌数=木口直径(cm)×3 30ヶ=10cm×3

植菌列数 ... 原木の木口直径(cm)の1/2の数。

例)植菌列数=木口直径(cm)÷2 5列=10cm÷2



木口直径 (cm)	8	10	12	14	16	18	20	22	24	26
植菌数 (個)	24	30	36	42	48	54	60	66	72	78
植菌列数 (列)	4	5	6	7	8	9	10	12	14	16

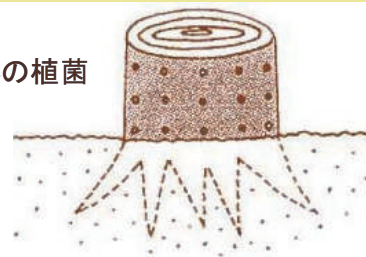


植 菌

■伐 根

- ・春に切り口が乾いたら植菌するか、一夏過ぎた秋に植菌する。
- ・萌芽する木は、芽を吹き落とす。
- ・植菌したら、柴・カヤなどをのせておく。

伐根への植菌



仮 伏 せ (菌の活着を良くし、ある程度菌糸を伸長させるために行います)

■場 所

- ・水はけが良く暖かい木かげ、散水のできる屋外やハウス。

■期 間

- ・植菌から5月いっぱいまで、おそくとも入梅前まで。

■方 法

- ・立て寄せか横積み(1m以下)にして、周囲をコモやムシロ・ダイオシートなど雨の通るもので囲み、厳寒期に限りビニールなどで囲む。
- ・上部同様とし、直射日光をさける。
- ・植菌時期がおくれた場合は、仮伏せをしないですぐ本伏せにする。
- ・植菌後、一週間程度毎日散水する。
- ・期間中は、乾燥に注意して時々(1週に2~3回)散水する。

〈仮伏せ例〉



〈本伏せ例〉

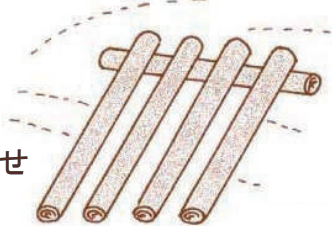


本 伏 せ

■場 所

- ・水はけが良く、涼しく湿気のある空気が流動するところ。
- ・チラチラ散光線が入る雑木林か針葉樹林内。
- ・北東向きの斜面や谷間など。
- ・散水施設があるところ。

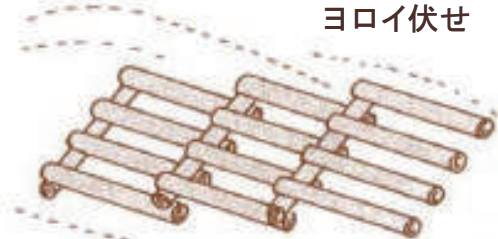
片枕伏せ



■時 期

- ・ホダ木の木口に菌糸紋(キノコ菌が木口に現れた状態)が表れた頃、入梅に入る前に本伏せする。

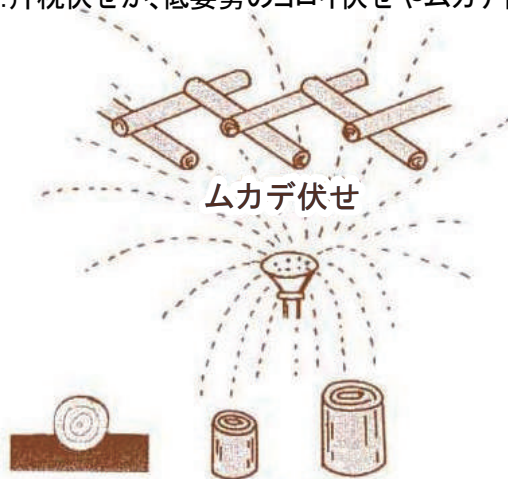
ヨロイ伏せ



■方 法

- 適 地: 地面に直接ならべ、接地伏せにする。
- 乾燥地: ホダ木を土中に浅く埋める。
- 適湿地: 片枕伏せか、低姿勢のヨロイ伏せやムカデ伏せにする。

ムカデ伏せ



土伏せ

※ほだ木を地面に1/3位埋めます。

立て伏せ

(短木過湿地)



本伏せ

■天地返し

・梅雨期と梅雨明けに、地面に接してた部分を逆にして菌糸を原木に均一に蔓延させる。

■梅雨期

・水はけを良くし、雑草などを刈り取り、風通しをよくしてムレないように管理する。

■夏期

・乾燥するときには、スプリンクラーなどを利用して散水する。

・直射日光の当たるところは、ダイオシートなどで遮光する。

・8月以降、その年の発生完了までホダ木は動かさないようにする。

発生

■発生操作

・発生する30日位前から、ときどき散水してホダ木に活力を与えておく。

・樹皮が厚く硬いものは、樹皮面にナタ目を入れる。

■発生

・品種によっても異なる気温が18～17℃以下になると発生が始まり、3℃位まで発生する。

・植菌した年の秋に少し発生するが、二夏を過ぎた秋からが最盛期となり次第に少なくなる。

※採取するときはホダ木を動かさないようにする。

